



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月30日

上場会社名 東映アニメーション株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4816 URL <https://www.toei-anim.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高木 勝裕
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 伊東 浩治 (TEL) 03-5318-0639
 配当支払開始予定日 一
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	67,141	△7.6	23,318	△0.3	25,078	2.9	17,919	6.0
(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期	72,700	8.3	23,377	31.5	24,368	20.0	16,907	15.9

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 19,151百万円(-0.1%) 2025年3月期第3四半期 19,135百万円(-11.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 錢	円 錢
2025年3月期第3四半期	87.67	—
	82.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
2026年3月期第3四半期	百万円		百万円		%	
2025年3月期	191,829		163,308		85.1	

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 163,308百万円 2025年3月期 153,198百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 錢	円 錢	円 錢	円 錢	円 錢
2026年3月期	—	0.00	—	41.00	41.00
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	41.00	41.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 錢	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) — 、除外 一社 (社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2026年3月期3Q	210,000,000株	2025年3月期	210,000,000株
2026年3月期3Q	5,687,029株	2025年3月期	5,503,629株
2026年3月期3Q	204,397,668株	2025年3月期3Q	204,496,462株

(注) 当社は、役員報酬BIP信託を導入しており、当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが本資料の発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、リスク及び不確実性を包含しております。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P. 3 「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 利益配分に関する基本方針	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間において、当社グループでは「ワンピース」、「ドラゴンボール」シリーズ、「プリキュア」シリーズ、「デジモンアドベンチャー」シリーズといった主力作品群からの安定的な収益の確保・拡大を図りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は671億41百万円（前年同期比7.6%減）、営業利益は233億18百万円（同0.3%減）、経常利益は250億78百万円（同2.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は179億19百万円（同6.0%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります（セグメント間取引金額を含む）。

なお、セグメント損益は、営業利益ベースの数値であります。

①映像製作・販売事業

劇場アニメ部門では、「映画キミとアイドルプリキュア♪ お待たせ！キミに届けるキラッキライブ！」（2025年9月公開）の上映継続に加え、「劇場版総集編 ガールズバンドクライ 前編 青春狂走曲」「劇場版総集編 ガールズバンドクライ 後編 なあ、未来。」を公開しましたが、前年同期に公開した、映画「鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎 真生版」程には至らず、減収となりました。

テレビアニメ部門では、「ワンピース」、「キミとアイドルプリキュア♪」、「科学×冒險サバイバル！」、「DIGIMON BEATBREAK」、「おしりたんてい」、「ふしぎ駄菓子屋 錢天堂」の6作品を放映しました。前年同期と比較して放映作品数が減少したことにより、減収となりました。

コンテンツ部門では、「ガールズバンドクライ」のブルーレイ・DVDが好調に稼働したことから、前年同期と比較して増収となりました。

海外映像部門では、「ワンピース」の配信権販売が好調に稼働したものの、「ドラゴンボール」シリーズの配信権販売・放映権販売の反動減により、減収となりました。

その他部門では、前年同期好調に稼働した映画「THE FIRST SLAM DUNK」、映画「鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎」をはじめとした、国内の映像配信権販売の反動減により、大幅な減収となりました。

この結果、映像製作・販売事業全体では、売上高は234億77百万円（前年同期比16.7%減）、セグメント利益は80億53百万円（同7.4%減）と減収減益となりました。

②版権事業

国内版権部門では、「ワンピース」、「ドラゴンボール」シリーズの商品化権販売・ゲーム化権販売が前年同期の勢いには至らなかつたことから、大幅な減収となりました。

海外版権部門では、「ワンピース」の商品化権販売、「デジモンアドベンチャー」シリーズの商品化権販売・ゲーム化権販売が好調に稼働したことから、増収となりました。

この結果、版権事業全体では、売上高は346億29百万円（前年同期比1.1%減）、セグメント利益は189億70百万円（同9.4%増）と減収増益となりました。

③商品販売事業

商品販売部門では、「ドラゴンボール」シリーズ、「プリキュア」シリーズのショッピング事業が好調に稼働したものの、前年同期に好調に稼働した映画「THE FIRST SLAM DUNK」の商品販売の反動減により、大幅な減収となりました。

この結果、売上高は60億95百万円（前年同期比15.8%減）、セグメント利益は7億36百万円（同4.0%減）と減収減益となりました。

④その他事業

その他部門では、催事イベントやキャラクターショー等を展開しました。「プリキュア」シリーズ、「ガールズバンドクライ」の催事が好調に稼働したこと等から、増収となりましたが、人件費等がかさみ減益となりました。

この結果、売上高は33億8百万円（前年同期比22.3%増）、セグメント利益は46百万円（同72.8%減）と増収減益となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて0.9%増加し、1,290億35百万円となりました。これは、現金及び預金が60億52百万円、有価証券が1億7百万円、商品及び製品が1億64百万円、仕掛品が25億95百万円それぞれ増加し、受取手形及び売掛金が74億59百万円、流動資産のその他が3億52百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.4%減少し、627億93百万円となりました。これは、有形固定資産が1億83百万円、無形固定資産が1億53百万円、投資有価証券が24億97百万円、投資その他の資産のその他が1億20百万円それぞれ増加し、投資その他の資産の長期預金が32億円減少したこと等によるものです。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて0.4%増加し、1,918億29百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて30.0%減少し、238億41百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が69億59百万円、未払法人税等が26億47百万円、賞与引当金が2億32百万円、流動負債のその他が3億52百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて24.9%増加し、46億78百万円となりました。これは、固定負債のその他が8億27百万円増加したこと等によるものです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて24.5%減少し、285億20百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて6.6%増加し、1,633億8百万円となりました。これは、利益剰余金が95億28百万円、その他有価証券評価差額金が12億7百万円それぞれ増加し、「役員報酬BIP信託」の継続等に伴い、自己株式が6億51百万円増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では2025年5月16日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

なお、実際の業績は、当社グループの事業を取り巻く経済環境、市場動向、為替レートの変動等様々な要因により、記述されている業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

(4) 利益配分に関する基本方針

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な政策の一つとして考えており、財務の健全性、成長が期待されるビジネス機会への投資、株主さまへの利益還元のバランスを取りながら安定した配当を継続的に実施していくことを基本方針としております。

内部留保金については、「IPを戦略の軸に据えたグローバル事業展開」をより一層強化し、持続的成長と中長期的な企業価値向上に資するような事業機会やグローバル企画に積極的に投資いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	82,474	88,527
受取手形及び売掛金	29,376	21,916
有価証券	92	199
商品及び製品	1,708	1,872
仕掛品	8,281	10,876
原材料及び貯蔵品	151	135
その他	6,021	5,668
貸倒引当金	△165	△161
流動資産合計	127,940	129,035
固定資産		
有形固定資産	8,558	8,742
無形固定資産	1,281	1,434
投資その他の資産		
投資有価証券	20,703	23,200
長期預金	30,500	27,300
その他	1,998	2,118
貸倒引当金	△2	△3
投資その他の資産合計	53,199	52,616
固定資産合計	63,039	62,793
資産合計	190,980	191,829
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,125	15,165
未払法人税等	5,279	2,631
賞与引当金	592	359
その他	6,038	5,685
流動負債合計	34,035	23,841
固定負債		
役員株式給付引当金	229	268
退職給付に係る負債	172	239
その他	3,343	4,170
固定負債合計	3,745	4,678
負債合計	37,781	28,520
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,867	2,867
資本剰余金	3,409	3,409
利益剰余金	133,030	142,559
自己株式	△754	△1,406
株主資本合計	138,553	147,430
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,945	9,153
繰延ヘッジ損益	△2	0
為替換算調整勘定	6,702	6,724
その他の包括利益累計額合計	14,645	15,878
純資産合計	153,198	163,308
負債純資産合計	190,980	191,829

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	72,700	67,141
売上原価	38,024	31,281
売上総利益	34,675	35,860
販売費及び一般管理費	11,298	12,542
営業利益	23,377	23,318
営業外収益		
受取利息	844	756
受取配当金	274	319
持分法による投資利益	100	138
為替差益	—	416
その他	185	139
営業外収益合計	1,405	1,770
営業外費用		
支払利息	0	0
投資事業組合運用損	13	6
支払補償費	194	—
為替差損	189	—
その他	16	3
営業外費用合計	413	10
経常利益	24,368	25,078
特別利益		
投資有価証券売却益	—	744
特別利益合計	—	744
特別損失		
減損損失	113	25
投資有価証券評価損	128	—
持分変動損失	28	—
特別損失合計	270	25
税金等調整前四半期純利益	24,097	25,797
法人税、住民税及び事業税	6,868	7,524
法人税等調整額	321	353
法人税等合計	7,190	7,877
四半期純利益	16,907	17,919
親会社株主に帰属する四半期純利益	16,907	17,919

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	16,907	17,919
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	897	1,030
繰延ヘッジ損益	△1	2
為替換算調整勘定	1,262	22
持分法適用会社に対する持分相当額	68	177
その他の包括利益合計	2,228	1,232
四半期包括利益	19,135	19,151
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,135	19,151
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	映像製作・販売事業	版権事業	商品販売事業	その他事業 (注)1	計	調整額 (注)2	合計 (注)3
売上高							
日本	8,667	13,310	6,880	1,939	30,797	—	30,797
北米	4,990	9,328	17	3	14,340	—	14,340
中南米	1,591	1,246	—	2	2,840	—	2,840
欧州	3,813	5,309	0	498	9,622	—	9,622
アジア	9,124	5,648	325	1	15,100	—	15,100
顧客との契約から生じる収益	28,187	34,843	7,223	2,445	72,700	—	72,700
外部顧客への売上高	28,187	34,843	7,223	2,445	72,700	—	72,700
セグメント間の内部売上高又は振替高	9	164	12	258	443	△443	—
計	28,196	35,007	7,236	2,704	73,144	△443	72,700
セグメント利益	8,697	17,336	766	170	26,970	△3,593	23,377

(注) 1. 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであるイベント事業であります。

2. セグメント利益の調整額△3,593百万円には、セグメント間取引消去8百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,601百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	映像製作・販売事業	版権事業	商品販売事業	その他事業 (注) 1	計	調整額 (注) 2	合計 (注) 3
売上高							
日本	5,785	11,239	5,541	2,282	24,848	—	24,848
北米	5,540	9,426	—	—	14,966	—	14,966
中南米	950	1,893	—	—	2,843	—	2,843
欧州	2,786	5,888	13	887	9,575	—	9,575
アジア	8,405	5,958	528	14	14,907	—	14,907
顧客との契約から生じる収益	23,468	34,407	6,082	3,183	67,141	—	67,141
外部顧客への売上高	23,468	34,407	6,082	3,183	67,141	—	67,141
セグメント間の内部売上高又は振替高	8	222	13	124	369	△369	—
計	23,477	34,629	6,095	3,308	67,511	△369	67,141
セグメント利益	8,053	18,970	736	46	27,806	△4,488	23,318

(注) 1. 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであるイベント事業であります。

2. セグメント利益の調整額△4,488百万円には、セグメント間取引消去7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,496百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	586百万円	550百万円